

## 【調査報告書の見方8】

調査報告書は、企業の与信管理を行う上で参考となる資料です。貸借対照表の概要を知る上で必要なデータが掲載されています。

貸借対照表			
株式会社 広島家具		2009年11月30日	
資 産		負 債	
科 目	金 額 (千円)	科 目	金 額 (千円)
( 流 動 資 産 )	( 626,000 )	( 流 動 負 債 )	( 286,250 )
現金・預金	220,000	支払手形	120,750
受取手形	0	買掛金	149,500
売掛金	49,000	短期借入金	0
棚卸	350,000	未払金	15,000
その他	7,000		
( 固 定 資 産 )	390,000	その他流動負債	1,000
土地	250,000	( 固 定 負 債 )	( 500,000 )
建物	120,000	長期借入金	500,000
工具・器具・什器・備品	4,000	その他固定負債	
機械装置	0	( 資 本 )	( 229,750 )
車両運搬具	4,000	資本金	31,200
投資有価証券	10,000	資本剰余金	83,550
その他	2,000	利益剰余金	115,000
合 計	1,016,000	合 計	1,016,000
割引手形残高	0	裏書廻し手形残高	0

関東洋ファニチャーサーチ

(9)

- ・直近の貸借対照表を掲載しています。財務諸表が入手できた場合決算時点の期日となる場合が多くなります。
- ・財務諸表を入手できず、主要項目の聞き取りなどによって貸借対照表を作成した場合、表題が『(推定)貸借対照表』となります。

- ・正式な財務諸表が入手できない場合でも、流動資産・固定資産・流動負債・固定負債・資本・資産合計などの主要科目は可能な限り聞き取り調査を行っています。こうした項目のバランスをチェックし、企業体質の概略を把握することが必要です。

- ・正式な貸借対照表、または推定貸借対照表が掲載されています。
- ・企業体質をチェックする上で最も重要になる部分だと言えますが、企業規模や業種によって適正数値は変化します。
- ・基本的な目安として、流動資産>流動負債・固定資産>固定負債となっていることが理想ですが、資産や負債の中身によっては例え上記の内容となっても問題を抱えた企業は存在します。(売掛金や在庫の不良化や長短貸付金の不良化など・・・)
- ・各数値の主要な項目の比率は分析表で確認してください。